



つ・い・に…さなぎが…!



6月13日(木)
たんぽぽ組

6月12日(水) ちょうちよに…!

12日(水)の朝、いつものように飼育ケースをのぞくと、さなぎが羽化し立派なアゲハ蝶になっていました!! 元気よく飼育ケース内をパタパタ動いているアゲハ蝶を見つけた子どもたちは大興奮! 嬉しさが全身にあふれ出ていて、発見すると走って保育者の元に駆け寄り「ちょうちよになっとるよ!」と伝えながら手を引っ張って飼育ケースの前まで連れて行ってくれました。



せんせ~ちょうちよになってるよ!
早くこっち来て! 見て見て!



動いてるよ!
アゲハ蝶!

ちょうちよさん
かわいいね~♡

ちょうちよ
うま〜いったね♪



パタパタしとる~!

ちょうちよ、
上にとまっとるよ!

昨日一日、どの子もアゲハ蝶のことが気になり、何回も飼育ケースをのぞいて、「お~い、ちょうちよさ~ん」と話しかけたり、「はらべこあおむし」の絵本と本物のちょうちよを見比べて、「これと一緒にちょうちよになったね~」と友だちと笑い合ったりしていました。また、給食の時間には、「ちょうちよさん、寝てるかな~?」「元気に飛んでるかな~?」と心配している子もまたよ。

3時のおやつを食べ終え、2階の保育室に戻ってきて「ちょうちよさ~ん」と飼育ケースを見てみると…。元気がない?! あまり、ちょうちよが動いていませんでした。羽化に成功して、立派なアゲハ蝶を真近でもっと観察していただかとも思いましたが、狭い飼育ケースにそのまま入れておくのは…と思い、子どもたちに「ちょうちよさん、みんなみたいに、広い所で飛んだり、遊んだり出来たら楽しいし、嬉しいと思うから、お外にバイバイしてもいいかな?」と聞いてみました。ちょっと寂しそうな顔をしながらも、アゲハ蝶のことを考え「お外にバイバイしていいよ」と返ってきたので、ちょうちよを逃がすことにしました。



ちょうちよ
とんでいった~

ばいば~い!!

これと一緒に
ちょうちよやったね

お外に飛んでって、
こんなちょうちよに
なってるんじゃない?



次こんな青色の
ちょうちよになるかな

バイバイした後、絵本を見ながら、
会話が盛り上がっていました♪

6月13日(木) もう一匹!

今日の朝も、さなぎ1つがちょうちよになっていました!
子「また、ちょうちよになっとる~!」
保「ほんとやね! もう1つちょうちよになったね!」
子「パタパタしてとるよ~!」
子「おそといきたいよ~って言ってるんじゃない?」
子「お外でいっぱい遊びたいよ~って言っとるよ!」
子「ちょうちよさん、お家帰ったら?」
保「ちょうちよさんのお家ってどこ?」
子「この屋根の上やよ」
と、友だちと会話しながらアゲハ蝶の観察をしていました。しばらく観察した後、みんなでお外に逃がしてあげようと思えます。



イモムシの飼育を通して、子どもたちの発見や気づきを大切に、子どもの思いに共感することで、より生き物への興味・関心が深まったと思います。これからも、様々な場面での子どもたちのつぶやきに耳を傾けて、子どもと関わっていこうと思います。

残りの1つのさなぎもちょうちよになるかな? まだまだ観察は続きます♪